

トピック(テーマ)	純水館		
ねらい	佐久地域最大の器械製糸場純水館の創業から廃業までを知る。神奈川県に創設した茅ヶ崎純水館、両純水館を支えた人々の活躍をも知る。		
キーワード	酢久 小諸藩御用達 高橋平四郎 澁澤榮一 小山久左衛門 大里村諸 茅ヶ崎 小山房全 小山邦太郎 全国共栄蚕糸組合		
概要を知るためのツール	1	書名	純水館ものがたり
		著者名	純水館研究会
		出版社	櫟出版
		出版年	2007
		内容紹介	江戸後期から佐久地域の経済の中心地であった小諸に明治中期になって器械製糸が導入された。江戸中期から活躍していた商人の力で発展していく純水館製糸場の姿を語っている。明治・大正の全盛期を中心に描いている多くの製糸関係書籍の中で、昭和恐慌以降の波を乗り越えた経営と戦後の復興に多くのページを割いていることは本書の特徴といっていだろう。
	2	書名	小諸繁昌記
		著者名	永井與三郎
		出版社	小諸活版所
		出版年	1905
		内容紹介	明治中期の小諸を概観しつつ小諸商人の活躍を「商家案内」を通して浮き彫りにしている。その中から「工場」としての純水館製糸場を紹介している。小諸町の写真・絵図の項では「純水館第一工場」「第二工場」「小山久左衛門」など純水館関連の写真6枚が載せられている。
資料リスト	1	書名	長野県百科事典
		著者名	大井隆男
		出版社	信濃毎日新聞社開発局出版部
		出版年	1974
		内容紹介	「純水館」の項を設け「小山久左衛門が大里村(現小諸市)に開設した100釜の器械製糸工場」「1917(大正6)年に神奈川県茅ヶ崎に進出するなど、小諸町を佐久地方の主要製糸業地に発展させた」として紹介している。
	2	書名	小山敬三の世界
		著者名	小山敬三美術館友の会
		出版社	小山敬三美術館
		出版年	2012
		内容紹介	洋画家小山敬三を知るための本であるが、「来し方の記」で彼の父であり純水館創業者である小山久左衛門の人となりを深く知ることができる。
	3	書名	小諸市誌 近・現代篇
		著者名	小諸市誌編纂委員会
		出版社	小諸市
		出版年	2003
		内容紹介	

純水館

雑誌	1	論題名	小諸純水館の工女について-明治末期を中心に-
		著者名	野澤 敬
		雑誌名	千曲
		出版年	2006
		巻号頁数	第131号
インターネット	1	サイト名	国会図書館サーチ
		URL	https://iss.ndl.go.jp/
		概要	純水館に関連する図書、記事論文などを探することができる
	2	サイト名	信州ブックサーチ
		URL	https://www.knowledge.pref.nagano.lg.jp/index.html
		概要	純水館に関連する図書、記事論文などを探することができる
新聞	1	見出し	小諸の製糸業の歴史、純水館の記録まとめ
		発行機関	信濃毎日新聞 朝刊14ページ
		年月日	2007.4.30
	2	見出し	清水寛美さん 小諸の「糸の文化」伝えたい
		発行機関	信濃毎日新聞 朝刊22ページ
		年月日	2021.2.16
	3	見出し	解体「純水館」旧事務所・講堂 産業遺産の遺物を展示
		発行機関	信濃毎日新聞 朝刊31ページ
		年月日	2022.1.29